

令和5年度
アビリンピック北海道大会

縫製競技
公開課題

令和5年度アビリンピック北海道大会

ほうせいきょうぎ こうかいかだい 縫製競技 公開課題

【課題内容】

- エプロン製作
- 裁断済みの支給された材料で下図スタイルのエプロンを製作しなさい。

- きょうぎじかん
1. 競技時間 3時間30分
- きょうぎかいし
2. 競技開始 10時10分
(昼休憩 11時30分～12時)

※当日は別の布を使用します。



ちゅういじこう 3. 注意事項

(1) 競技開始前に、競技用材料が上記デザイン画のとおりであることを確認すること。

- エプロン 1枚 (裁断済み、袖ぐり処理済み)
- 肩ひも 2本
- 腰ひも 2本
- 見返し布 1枚
- ポケット布 2枚

※ (指定された以外のものは使用しないこと。)

(2) 競技中の工具の貸し借りは禁止すること。

(3) 競技開始前に競技委員から使用機械などの操作方法について説明があるので、不明な点があれば申し出ること。

(4) 作業時の服装などは、作業に適した物であること。

(5) 退場する前には、使用機械・作業台などの周辺を整理整頓すること。

4. 使用

- (1) 印付け (2) ミシン掛け (3) ポケット付け
(4) 腰ひも作り・付け方 (5) ひもの止め方 (6) 仕上げアイロン

5. 縫製工程

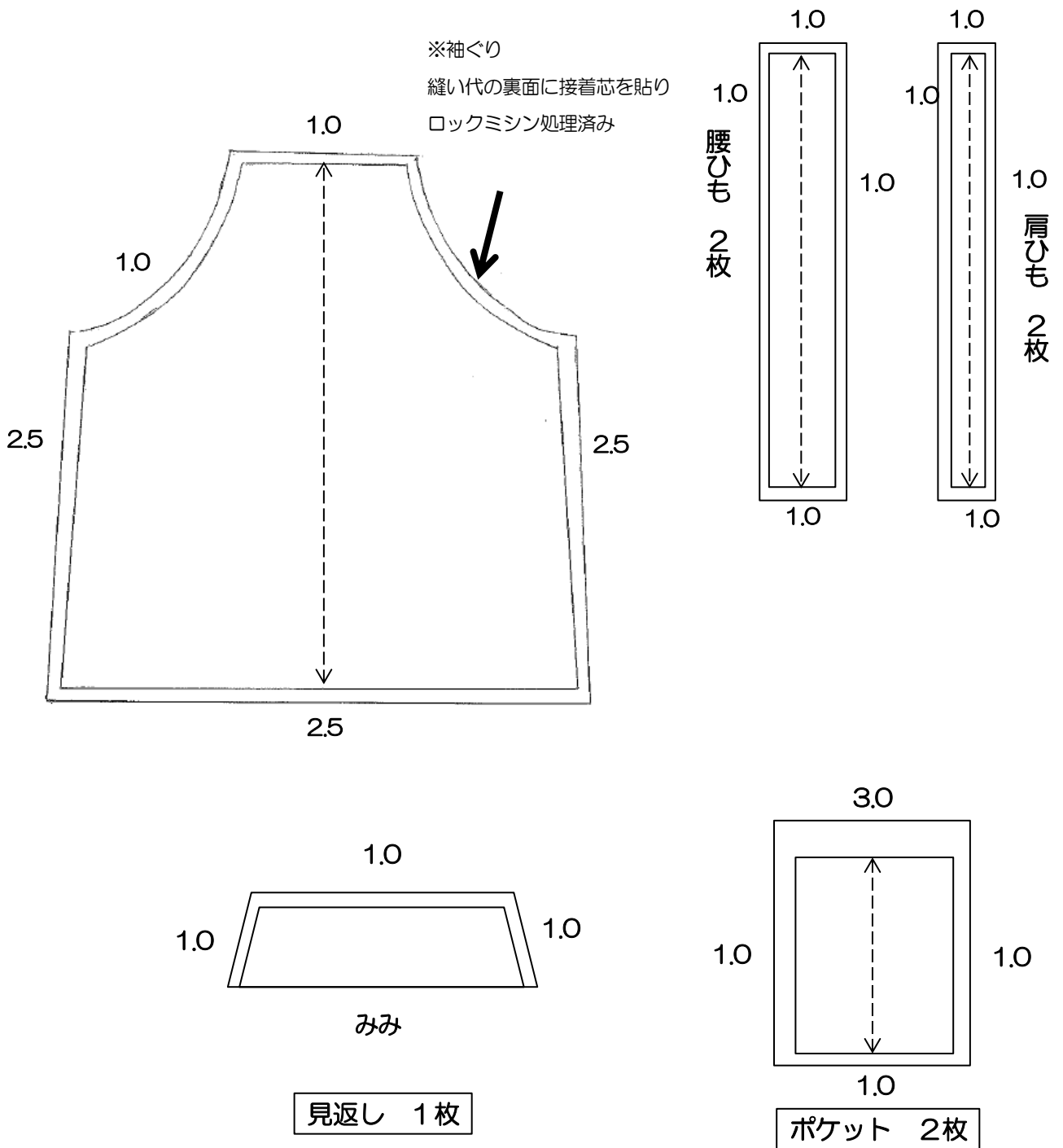
- (1) 肩ひも作り • 2cmのでき上がり幅で端ミシンのステッチを掛ける(図6)
- (2) 腰ひも作り • 4cmのでき上がり幅で端ミシンのステッチを掛ける(図6)
- (3) ポケット付け • ポケット口1cm、2cmで折り、三つ折り縫いとする。
• ポケット三方の折り方は底を折り、両端の順に折る。
• 付け方は、三方ステッチで。
- (4) 見返し作り • 見返し布1cmで縫う。(図1)
- (5) 肩ひもの
付け方 • 見返しではさみ縫う。(図4)
- (6) 腰ひもの
付け方 • 腰ひもをはさみ縫う。(図3)
- (7) 袖ぐりカーブ • 1cm折りで、袖ぐりから胸のステッチ幅は0.6cmの押さえ金の幅で縫う。
- (8) エプロン
両脇と裾 • 1cm、1.5cmで折り、三つ折り縫いする。
• ステッチの順序は、先に裾のステッチをかけ、腰ひもを挟み込み、脇を縫う。
- (9) 腰ひもの
ひも止め • ひも止めミシン。(図3)
- (10) 仕上げ • アイロンをかける。

6. 支給材料

- (1) 布 • 1枚分(綿ツィールで裁断済み。)
- (2) ミシン糸 • 1個

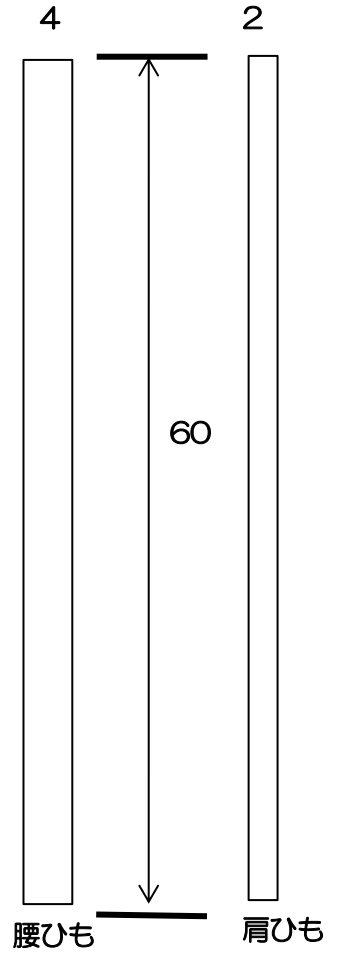
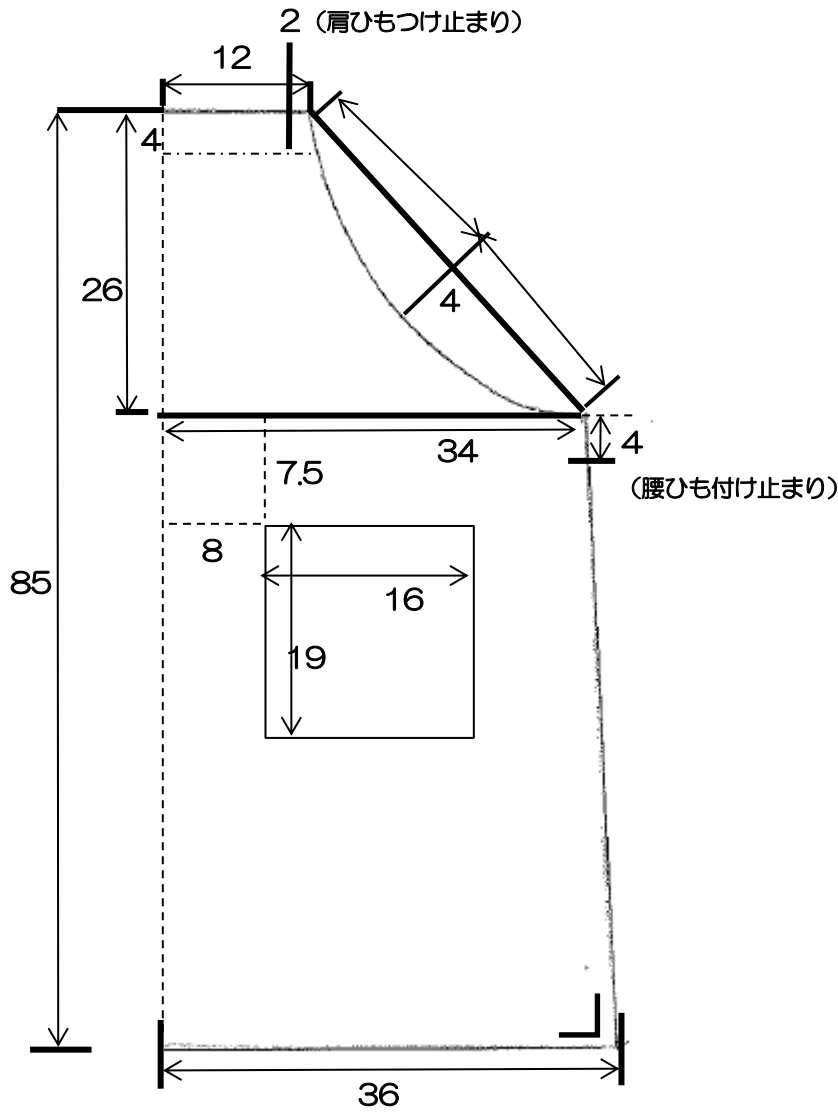
エプロン裁断（縫製競技課題）

図 1



エプロン製図（縫製競技課題）

図2



腰ひもの付け方

図3

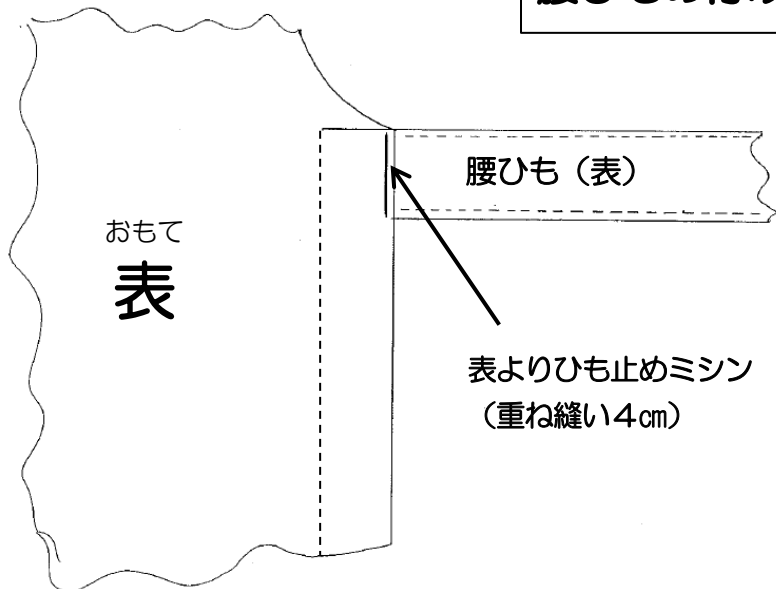
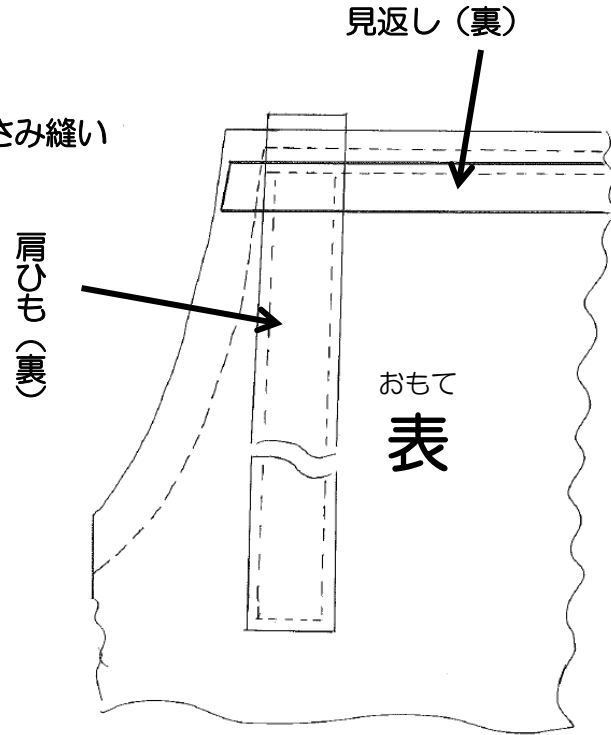


図4

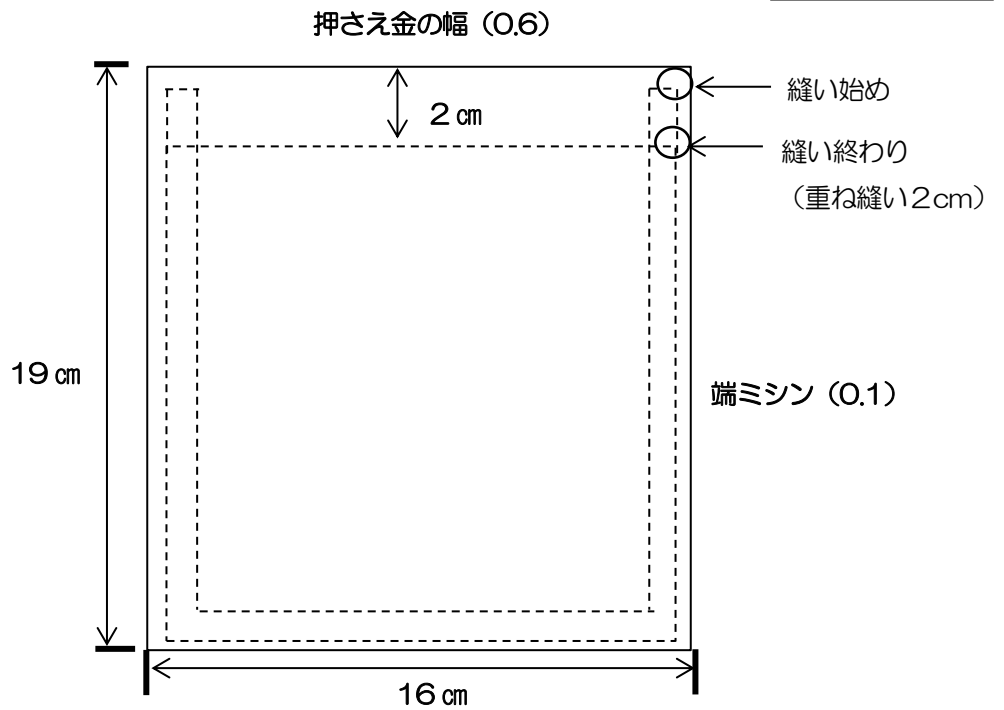
肩ひもの付け方

本体と見返しを中表にしてひもをはさみ縫い



ポケットの付け方

図5



ひもの作り方

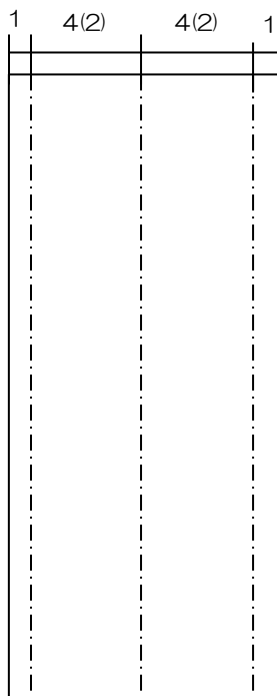
図6

肩ひも → 縫い代をまず折って、縫い代を包み込んでから2cmのできあがり幅で端ミシンのステッチをかける。

腰ひも → 縫い代をまず折って、縫い代を包み込んでから4cmのできあがり幅で端ミシンのステッチをかける。

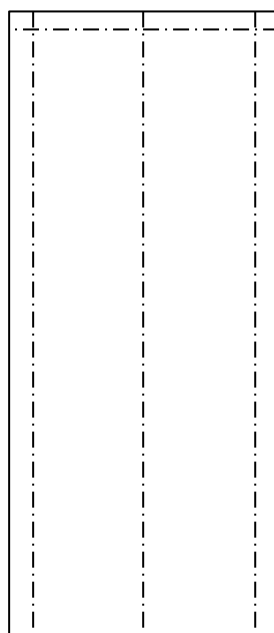
①

縫い代1cmと、真ん中に
折り目をつける



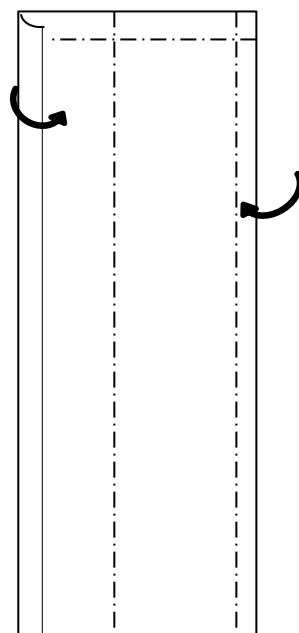
②

上1cmの所に折り目をつける



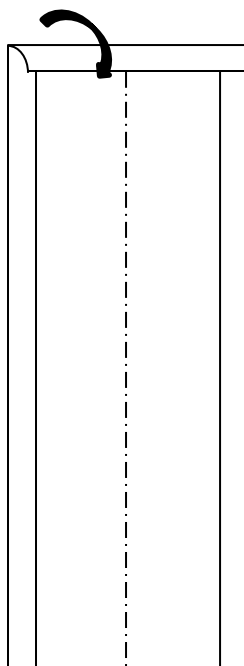
③

左側に折る
同様に右側も折る



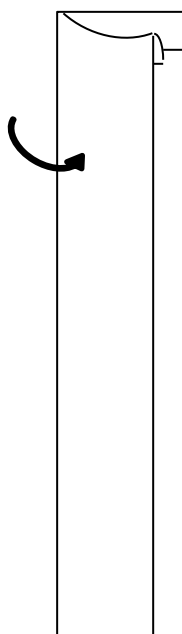
④

上を折り下げる
同様に下も折る



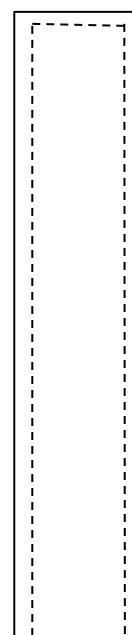
⑤

左側に折る



⑥

端ミシンで三方を縫う



縫製競技使用用具一覧表

主催者準備品

	準備品	規格	数量	備考
1	作業台	1800×800	1	
2	ミシン台	1500×600	1	
3	支給材料一式	綿の生地（綿ツイル）	1	裁断済み、袖ぐり処理済み
4	ミシン糸	化繊糸 #60	1	
5	ミシン			
6	アイロン			
7	アイロン台			
8	ボビン、ボビンケース			
9	ミシン針			
10	ライト			

※ 使い慣れたミシン・アイロンをご持参される場合は5～9までの物については各自でご用意下さい。

参加者の持参品

	準備品	規格	数量	備考
	縫製用具類一式	適宜	適宜	裁ばさみ、小ばさみ、目打ち、ものさし、チャコ、ステッチ定規、他必要な補助具、クッション、霧吹き等

